

ホーム名：グループホーム天神橋やすらぎの里					
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念『地域と共に歩み、私らしく豊かな生活を』を、フロアに掲示し、朝礼の際に唱和を行っております。	理念は開設にあたり事業主体代表者と相談しながら決めた。毎朝の唱和で職員に意識付け、共有を図っている。フロア出入口に提示し、来訪者の目にもよく留まる。	個々の“私らしさ”を大切にしたい支援に努力されている。今後も理念の実践に向け努められたい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常の買い物や外出では馴染みの関係が出来るよう、定期的に関わりの店に通っております。また、菅北福祉会館で開催のふれあい喫茶へ参加させて頂き、地域住民の方々との交流を図っております。	地域との付き合いを大切に考えており、自治会にも加入している。生活道路を隔てた菅北公園の月2回の掃除活動に入居者と共に参加しているのに加えて、公園の毎日のゴミ拾いも行っている。	自治会の総会「淡路島旅行」には、管理者が参加との事。地域に溶け込むことで、事業所の理解が深まる事に期待する。ボランティアの受け入れも検討中との事で、その折には近隣住民にも声を掛けてみられたい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域住民の方々と、菅北公園の掃除を協同で行っております。その際、入居者様と住民の方々の関わりを援助し、認知症の人の理解を深めております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議における委員様からの意見や提案を、リーダー会議で報告し改善や取り組みに繋げております。	会議では、行事・地域活動・職員研修等の報告やホームの現状を伝え、出席者から意見や助言等を頂いている。構成メンバーには、菅北公園愛護会会長、近隣グループホームの3事業所も含まれている。	会議構成メンバーである菅北公園愛護会会長より、「百歳体操」の情報を頂き、その後参加に至ったとの事。今後も出席者からの意見や提案をサービスに活かし、運営推進会議を有効に活用されたい。家族の出席に繋がる取り組みに期待する。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組を積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる。	不明な点等は電話で連絡を取ったり、運営推進会議やグループホーム連絡会などで相談しております。	ホーム開設にあたり、事業主体と共に市に相談したり助言を頂いたりした。生活支援者に対する支援を含め、市や区とは日頃から連絡を取る事で相談や助言を頂ける関係作りが出来ている。	区の職員がホームを訪れる折には、ホームの実情を伝えたり見て頂く事で、今後のホームの充実へとつながられたい。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	身体拘束防止マニュアルを作成し、ユニットに設置しております。ユニットの玄関は開錠し、自由に出入りできるように取り組んでおります。	身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。玄関及びフロアの出入口は施錠せず、自由に出入りできている。	今後も施錠する事無く、自由に行き来できる支援を続けて頂きたい。研修等で、禁止の対象となる具体的な行為について更に理解を深めていかれたい。
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアルを作成し、ユニットに設置しております。また、勉強会を実施し虐待防止に努めております。		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>資料を閲覧できるようにし、相談があった際に助言などできるように対応しております。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は、十分な時間を設け説明し、納得頂けてるか質問・疑問点を確認しながら進めております。</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議に、入居者様及びご家族様にも参加して頂き、ご意見を伺っております。</p>	<p>家族の来訪時には接遇に気を配り、良い関係作りを心掛けている。近況報告を詳細に行い、その折に要望や意見、苦情等を伺っている。対面でのやり取りを願っているので「意見箱」は設置していない。</p>	<p>家族からは支援に対する要望や希望が出され、ケアプランに反映されている。口では言い辛いホームに対しての苦情等の表出の為に、「意見箱」等無記名での投票箱の設置が望まれる。</p>
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>リーダー会議・スタッフ会議で意見を聞く機会を設けております。また、随時施設等に対する要望や意見を聞き、反映できるものは反映させております。</p>	<p>リーダー会議やスタッフ会議の折に、また「疑問・提案シート」を作成して意見や提案を聞く機会を設けている。経験の浅い職員が多く、運営に関する意見や提案等はまだまだ出ていない。</p>	<p>今後職員から多くの意見や提案が出て、それらが反映されていくように期待している。</p>
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>リーダー会議にて、ユニットの状況や実績把握に努めております。また、環境改善のため、疑問・提案シートを作成し、条件の整備に努めております。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>リーダーを中心にOJTを計画、実行しております。法人内研修を開催し、参加できなかったスタッフには閲覧して頂き、知識・技術の向上に努めております。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>計画作成者を中心とした、グループホーム連絡会に参加しております。その中で、疑問などをヒアリングする機会を設けております。</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>初回の面接時や相談時に、本人様より要望等を聞き取りし、リーダーに伝えサービス計画書やサービス提供に活かしております。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>初回の面接時や相談時に、家族様より要望等を聞き取りし、リーダーに伝えサービス計画書やサービス提供に活かしております。また、入居時の環境の変化による負担を最小限に抑えるため、家族様と相談し連携を図っております。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談のケースに応じ、他のサービスの情報提供や紹介を行っております。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は特に料理について、入居者様に教わる事が常にあります。また、家事を中心に共に行い、入居者様同士の優しさから生まれる関係づくりを援助しております。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族様の面会時や運営推進会議時に、家族様へ活動内容の報告を行うとともに、要望等をお聞きしております。</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの場所へ外出を心がけております。また、家族様に対し明るい挨拶・お茶出し・近況報告をすることにより、来館してもらいやすい環境づくりに努めております。</p>	<p>公園掃除が縁で繋がりが出来た近所の喫茶店には、モーニングやおやつ外出で利用するようになり、親しい間柄となってきた。新聞を読まれていた入居者がおられる事から、ホームとして新聞購読をするようになった。</p>	<p>昨年の大阪府知事・大阪市長選挙には全員で投票に出掛け、社会参加もされた。今迄されてきた事、好きだった事、好きだった場所、思い出の場所等々今後も楽しみが続く支援の継続をお願いする。</p>
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>スタッフが入居者様の間に入り、交流を持って頂けるように援助しております。</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス利用終了の入居者様は、他界された1名様のみであります。家族様は遠方であるため、関係性を保つことはできておりません。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプランの更新時に、本人様の意向を聞き、ケアに繋げるよう努めております。また、職員に常に相手の立場に立って物事を捉えるよう指導しております。	ゆっくと時間をかけ、コミュニケーションを図る事により、思いを汲み取るように心掛けています。	日頃からの入居者との意思疎通は欠かせないものである。気づきや直感力を磨き、口に出せない思いも汲み取りながら、入居者の思いに副える支援を続けていって頂きたい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	入居時に家族様や本人様・関係機関から、生活歴やサービス利用の経過について話を聞いております。また、入居後も本人様からの情報を中心に、連絡シートに記載し職員間で共有を行っております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケアプランの更新時に、アセスメントを取り、現状の把握に努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様や家族様に、介護に対する意向を聞いております。また、計画書更新前のケアカンファレンスにて、各職員で意見を出し合って介護計画に反映しております。	入居者の「生活歴」を重視し、本人や家族に希望や要望を伺って介護計画を作成している。家族に解り易い言葉での作成に心掛けている。	「私らしく豊かな生活」が送れるように、その人その人に合った介護計画で、毎日を豊かに楽しく過ごせる様今後も支援していって頂きたい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は支援経過記録へ、ケアの実践・結果はケアチェック表へ記載を行い、計画書の見直しにいかしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様の急な訴え・要望に対し、職員間で連携・協力を行い、可能な限り対応できるよう努めております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域住民の方々と、公園掃除を行うこと、また地域の喫茶店の通うことにより、日々を楽しむようにサポートしております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時に本人様・家族様の同意・納得を得て、協力医院の医師に主治医変更をお願いしておりますが、ご要望があれば、以前からのかかりつけ医への受診の支援も行います。	入居時に石井クリニックが協力医院である事を説明（緊急時の対応や訪問看護師の医療支援で安心・安全）している。現在は全員が月3回の協力医の往診を受け、協力歯科の往診も月1回希望者4名が受診している。	現在家族の希望で訪問リハビリを受けている方もおられる。協力医・訪問看護師・かかりつけ薬局等と連携しながら、各人の適切な医療支援がなされるよう、また家族への報告も密にされるよう望む。

31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>訪問看護師様へ、状況の変化等をお伝えすることにより、介護と医療の連携に努めております。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入居者様が入院した際には医療機関に情報を提供し、職員が面会にお伺いし、家族様・医師・看護師との、情報交換を行っております。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居契約時に、ターミナルケアについての説明を行っております。また終末期は、家族様・主治医・訪問看護・職員で情報を共有し、チームで支援を行えるよう取り組んでおります。</p>	<p>入居契約時、「医療連携体制指針」によって重度化した場合の説明がある。「看取り介護についての同意書」も作成されている。ホームでの看取りを希望している人が多い。</p>	<p>現在ターミナルを迎えている方がおられる。最期まで温かい支援をお願いする。支援経過をしっかりと記録に残されたい。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故対応マニュアルを策定し、常に閲覧できるようにしております。また、勉強会の開催にて知識の構築に努めております。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を実施し、また非常時の備蓄を行っております。</p>	<p>今年3月に2階台所からの出火を想定して入居者と職員が一緒に避難訓練をしている。消防からは、階段使用で菅北公園に避難するよう指示があった。「救護用入居者一覧表」が作成されている。</p>	<p>非常時の避難には入居者の予想しがたい行動がある。考えられる事柄を想定しその対応を話合われたい。災害時の備蓄品についてはより豊富であるように望む。</p>

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様は人生の先輩であります。人格を尊重した、プライバシーを損なわない丁寧な言葉で対応しております。	入居者に対しては「さん」付けで、対話時には物の言い方、態度に気を付けている。入浴・排泄・更衣などは特段の注意で、人格の尊厳の保持に努めている。	ホーム便りへの氏名掲載も同意書で了解を得ており、個人情報の扱いにも配慮されている。人格を尊重した接遇で今後も支援されたい。職員間で啓発しあう事でより意識を高められたい。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ゆっくりと時間をかけ、入居者様とコミュニケーションを図ることにより、思いを汲み取るよう心掛けております。また、朝食時・おやつ時・外食時は好きな飲料を選んで頂いております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務優先ではなくゆったりとした空間作りに努めております。また、職員の連携・協力のもと、入居者様の希望に添える支援に努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お化粧が好きな入居者様には、起床時等にお声掛けをすることにより、お化粧の継続に努めております。また、入浴前は入居者様の好きな服を選んで頂くよう、支援しております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や盛り付け・片付けは、職員と一緒にやるよう努めております。食事メニュー等は、入居者様との会話の中から決定する事もございます。	1か月分の「基本食事メニュー表」が作成され、希望を入れながらその日の食事が手作りされている。月2回の喫茶「コンパス」でのモーニング、昼外食、親和パーティー等と食の楽しみは多い。時には入居者の手づくりのおやつ作りもある。	入居者が主立っての食事作りとの事。当日出された“手作りドーナツ”も美味しくいただいた。微笑ましい食事作りがいつまでも続くように願っている。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量は記録に残し、水分は入居者様に合わせた飲料を提供することにより確保に努めております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを実施しております。また、必要な入居者様には、歯科医師または歯科衛生士による口腔ケアをして頂いております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	チェック表に記載することにより、入居者様個々の排泄パターンを把握するよう努めております。	各人の排泄チェック表が作成され、トイレでの排泄に向け支援している。立位の取れない車椅子利用の方には、二人介助で移乗し、トイレでの排泄を支援している。	現在は自立して排泄行為ができていく人が多い。いつまでもその状態が維持できるように、骨盤底筋運動などを体操の一環として取り入れてみられたい。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給や運動などで、便秘の予防に努めております。また、牛乳やヨーグルトなどの乳製品を、積極的に提供しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日を固定せず、週に2～3回の入浴回数で対応しております。	一人週に2～3回、午前11時からの入浴である。歩行困難な入居者には入浴用リクライニング椅子（シャワーキャリー）を使用して支援している。浴槽はその都度湯の入れ替え・洗浄が行われ清潔さは維持されている。	入浴時には、個々の身体の変化や状態がわかる観察の時間でもある。1対1で過ごせる貴重な時間として、コミュニケーションを図りながら楽しい入浴タイムとされたい。

46	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入床・起床時間は、入居者様のリズムで行っていただいております。日中の休息もフロアや居室でさせていただきます。		
47	○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書をファイルに綴じ、職員がいつでも閲覧できるようにしております。		
48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	在宅生活で行っていた習慣を継続できるよう、また散歩や外出で気分転換を図ることができるよう、支援しております。		
49 18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	外出の希望がある場合は、職員の連携・協力のもと、可能な限り対応するよう努めております。また、個別外出では入居者様の好きな場所に、出かけることができるよう努めております。	食材の買い出しや公園の掃除などで、毎日の外出がある。24日には、そう遠くない大川沿いのさくら並木を見に散歩に出掛けた。食事外出や個別外出など、楽しみ外出も多い。	“今後は泊りの旅行ができれば…”と夢を持っている。是非実現できるようにと願っている。
50	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金をお持ちの入居者様は、買い物の際ご自身で支払いをしていただけるよう対応しております。		
51	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話の希望があれば、可能な限り対応しております。また、家族様へ年賀状を書くことを支援しております。		
52 19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアの電気は、入居者様の希望で減光しております。浴室前は、手作りの暖簾で心地のよい空間作り、また職員の言動が不快にならないよう、努めております。	共用空間は職員だけではなく入居者も一緒に掃除をしている。建物が新しく壁も床も綺麗で清潔であり室内も明るい。耳障りにならないよう職員の声のトーンなどにも気を配っている。	リビングには掲示物が無く、すっきりときれいな壁である。大人の落ち着いた居場所として、今後も品のある空間の提供を願いたい。また“綺麗の維持”にも努められたい。
53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロア内にテーブル・椅子のほか、ソファを置くことにより、共有空間の中での居場所の確保に努めております。		
54 20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具の設置や、写真をお部屋に飾るなどし、居心地の良い空間づくりに努めております。	居室の中は採光もよく全体に明るい。各人の好みの物や馴染みの物、カレンダー、時計、作品などが置かれていて、入居者にとって居心地のよい空間が作られている。寝具の衛生にも気が配られている。	入居者其々の個性があふれる部屋作りとなっている。今後も入居者の居心地の良い好みの部屋となるよう希望を聞きながら支援をしていって欲しい。
55	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下・浴室には手すりを設置し、安全に歩行・入浴・着脱が出来る環境でございます。また、キッチンの引出しに物の絵を貼ることにより、わかることへの支援に努めております。		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない